

早稲田大学 スポーツ科学部 小論文 講評

〔総合分析〕

出題形式	課題文読解型
試験時間	90分
特徴・その他	課題文がA・Bと2つあり、共通のテーマを論じるという点が特徴的。

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
グローバル化とスポーツの関係	アメリカ社会と日本社会における「個人」のあり方を比較した上で、これからのグローバル化におけるスポーツのあり方を論じるという内容であり、最近の現代文・小論文の流行に沿った出題であった。 課題文A・Bから、いかにテーマをしぼっていくかが、やや難しいが、それさえ出来れば、書きやすい問題であったといえよう。	標準

〔総合コメント〕

今回の問題は、日頃から現代文・小論文に真剣に取り組んでいる受験生にとっては、書きやすい問題であった。なお、このような出題のときには、具体例に深入りせず、本質論に重点を置くべきである。その意味で、本文の読解力も試されていると考えた方がよい。
